

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書		令和5年6月14日
豊橋市長 殿		
提出者		
住所 愛知県豊橋市明海町1		
氏名 トピー工業株式会社 豊橋製造所 執行役員所長 野秋 明弘		
(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)		
電話番号 0532-25-1111		
<p>廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。</p>		
事業場の名称	トピー工業株式会社 豊橋製造所	
事業場の所在地	愛知県豊橋市明海町1	
計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日	
当該事業場において現に行っている事業に関する事項		
① 事業の種類	鉄鋼業	
② 事業の規模	令和4年度売上高 109,486百万円	
③ 従業員数	918名	
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	製鋼工程：がれき類(耐火レンガ)→最終処分業者に委託し埋立処分 鋳さい(耐火レンガ)→最終処分業者に委託し埋立処分 鋳さい(還元スラグ)→中間処理業者に委託し建設材料として再資源化 圧延工程：廃油→再生処理業者に委託し燃料として再資源化又は焼却 塗装工程：廃プラスチック類→中間処理業者に委託し焼却 マルメ製造工程：ガス類、汚泥、鋳さい→最終処分業者に委託し埋立処分 排水処理工程：汚泥→最終処分業者に委託し埋立処分 全般：廃プラスチック類、ガラス陶磁器くず→中間処理業者に委託し破碎又は焼却	

(日本産業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図)			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙表1のとおり	
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・耐火レンガの寿命の延長化 ・廃耐火レンガのリサイクル ・マイカ副産物の工程内再利用 ・生産性・歩留向上による産業廃棄物の排出抑制		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙表2のとおり	
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・耐火レンガの寿命の延長化 ・廃耐火レンガのリサイクル ・マイカ副産物の工程内再利用 ・生産性・歩留向上による産業廃棄物の排出抑制		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・廃棄物の委託先毎、種類毎に分別・保管している。		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・廃棄物の委託先毎、種類毎に分別・保管する。		

## (第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙表	3のとおり
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・特に実施していない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙表	4のとおり
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・実施する予定はない。		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙表	5のとおり
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組) ・特に実施していない。			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙表	6のとおり
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組) ・実施する予定はない			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	別紙表7のとおり t	t
	(これまでに実施した取組) ・特に実施していない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	別紙表8のとおり t	t
	(今後実施する予定の取組) ・実施する予定はない。		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	別紙表9のとおり t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・可能な限り再生処理業者への処理委託を行い、最終処分量の低減を図っている。 ・優良認定処理業者への処理委託を優先的に行っている。		

②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	全処理委託量	t
	優良認定処理業者への処理委託量	別紙表10のとおり t
	再生利用業者への処理委託量	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t
	(今後実施する予定の取組) ・可能な限り再生処理業者への処理委託を行い、最終処分量の低減を図っていく。 ・優良認定処理業者への処理委託を優先的に行っていく。	
※事務処理欄		

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

